

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 心理学研究法			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
心理学で用いられている自然科学的研究法について学び、自らの問題意識に基づいて、仮説を立て、研究をデザインするための基礎的知識を習得する。						仮説、実験、調査、サンプリング、バイアス、信頼性と妥当性
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 6.	
A 知識・理解力			心理学に関する基礎的知識を身に付ける。			
C 論理的思考力			人間の行動や心理について、科学的・客観的に理解するための専門的技術の基礎を身に付ける。			
D 問題解決力			問題に対して仮説を立て、情報を収集・分析するために必要な方法論を習得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 40 %		発表: %	実技試験: %	その他: 20 %
特記事項: レポート(30%)、期末試験(50%)、授業への取り組み態度(20%)に基づいて成績評価を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 詳細は初回時に説明する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間期と終了時にフィードバックを行う。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①リサーチクエスションと仮説				リサーチクエスションを立てる。	30	
②実験的方法と非実験的方法				研究テーマについて情報収集する。	60	
③研究デザイン				研究の大意を考える。	60	
④神経心理学的研究法				仮説を立てる。	60	
⑤サンプリング法				サンプルとサンプリングを考える。	60	
⑥実験のバイアス				研究デザインを考える。	60	
⑦信頼性と妥当性				研究デザインを洗練させる。	60	
⑧実験の統制				レポートを提出する。	60	
⑨文化的バイアスと研究倫理				研究倫理について調べてまとめる。	60	
⑩記述統計と尺度				統計法について調べてまとめる。	60	
⑪推測統計の種類				記述統計と推測統計の違いについて調べる。	60	
⑫いろいろな検定法と検定結果の解釈				興味のある心理系論文を入手して読む。	60	
⑬質的データの扱い方				興味のある心理系論文を入手して読む。	60	
⑭研究レポートの書き方				興味のある心理系論文を入手して読む。	60	
⑮まとめ: 心理学研究のデザイン				総復習をする。	120	
使用テキスト: 心理学研究法入門、アン・サール(著)、宮本聡介・渡邊真由美(訳)、新曜社、ISBN978-4-7885-0943-6				その他参考文献など: 高野陽太郎(著)心理学研究法—心を見つめる科学のまなざし[有斐閣アルマ]		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 心理学研究法を習得するためには、自らの問題意識に基づいて、研究をデザインしてみることが最も効果的であり、議論への積極的な参加・発言を求めます。アクティブ・ラーニングで学びます。						